

◎説明会申込時に登録された質問事項に関して、予め回答可能なものをまとめました。

◎こちらに掲載されていないものは、当日の説明に回答が含まれるものや回答ができないものです。

◎当日の質疑に際して参考になさってください。

大区分	中区分	質問内容	回答等	参考情報等	
出願	コース選択	出願時にコースの指定は必要でしょうか。また、内部進学と外部進学の割合についても教えていただきたいです。	出願時には必ずコースを指定してください。内部進学と外部進学の割合については公表していません。		
		公共管理コースにも興味があるが、今まで法律を学んできたので不安があります。どのような人が公共管理コースへ進んでいるのか知りたいです。	入学者のバックグラウンドは公表していません。 なお、法律、政治、経済の各分野について、未修者向けの科目も開講しています。		
		コースの選択肢に国際プログラムコース（MPP/IP）がないのは何故でしょうか。	募集要項にあるとおり「募集人員のうち、概ね65人については国際プログラムコースで別途募集」します。	http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/mppip/	
		国際プログラムコースの入試内容も知りたいと思います。	MPPIP2022年度入試の募集要項は夏以降に公開されます。 2021年度MPPIP入試の内容：新卒・準新卒と職業人の2つのカテゴリーから選択して出願します。出願時に経済政策、金融・開発系（EPFD）、公共管理、国際関係系（PMIR）のどちらかを選択します。オンラインによる書類提出後、書類審査を通過した受験者を対象に口述試験（オンライン）があります。	http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/mppip/admissions/general-information/	
		国際プログラムコース（MPP/IP）への出願を検討しています。国際公共政策コースとの併願の可否が気になっています。	併願は可能です。		
	TOEFL	推薦書	GPAとTOEFLの基準値ありますか。	いずれも基準や「最低合格ライン」は設けられていません。 TOEFLスコアについては2014年度より合格者の平均点をHP上で公開していますので参考にしてください。	http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/admissions/admission-results/
			TOEFLスコアをETSから貴校に送る際、出願時期より前に提出してもよろしいでしょうか。	問題ありません。	
			TOEFLスコアは本研究科に到着するまで受験日から何週間ぐらいかかるのでしょうか。	ETSにご確認ください。なお、ETSから本教育部へ発送されるTOEFL成績票は、出願期間内に本教育部へ届かなくてもかまいません。	
	職業人選抜	説明会申し込み時の出願予定選抜枠（一般選抜・職業人選抜）と実際の出願選抜枠が異なっても問題ありませんか。	問題ありません。		
		職業人選抜は、勤務先からの派遣ではなくても出願可能でしょうか。	勤務先からの派遣ではなくても出願可能ですが、募集要項にある通り「官公庁・企業・団体等に在職のまま入学を希望する者は、入学後定められたカリキュラムに従って学業に専念できるよう、勤務先から「大学院に入学することに支障のない」旨の承諾を得」てください。		
選抜方法	審査全体	募集要項に「法学・政治学・経済学の各分野を大学の学部専門課程において履修していない受験者については、専門科目審査以外の要素を相対的に重視して可否を判断する」とあります。具体的にどの程度、試験以外の項目を評価して頂けますか。	評価基準に関する事項は回答できません。		

大区分	中区分	質問内容	回答等	参考情報等
選抜方法	審査全体	法学部・経済学部以外の学部出身なのですが、入学試験ではどのレベルの知識が求められますか。	評価基準に関する事項は回答できません。	
		学部での専攻が法学・政治学・経済学のいずれとも異なるのですが、そのような場合になされる入試での審査の比重について詳しく説明していただきたいです。また、過去に学部での専攻が3つのいずれとも異なる方がどの程度入学されているかについても知りたいです。	評価基準に関する事項は回答できません。 また、過去に学部での専攻が3つのいずれとも異なる方がどの程度入学しているかについて公表していません。	
	口述試験	口述試験において重要視していることをお教え頂きたいです。	評価基準に関する事項は回答できません。 ただし、募集要項にあるとおり「法律学・政治学・経済学の各分野を大学の学部専門課程において履修していない受験者については、専門科目審査以外の要素を相対的に重視して可否を判断する。」こととなっています。	
入学後の学習		今年度の科目表に公共政策学専攻と国際公共政策学専攻の分類がありますが、選択コースとこの分類の関係を教えていただけませんか。	公共政策学専攻の科目＝専門職学位課程の科目、国際公共政策学専攻の科目＝博士課程の科目とご理解ください。	http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2016/01/Course-List-AY2021-0428.pdf
		東京大学内の他学部、他学科の講義の履修や聴講は可能でしょうか。	可能です。 ただし、科目によって履修制限が設けられている場合があります。	
		東大経済学部にも所属している者です。現在、経済学研究科のコア科目（ミクロ・マクロ・計量経済学）を履修しているのですが、そこで単位を取得した場合はGrasPPでの単位として認められますか。	経済政策コースでは入学前に取得した本学経済学部、本学経済学研究科の科目を、必修科目に代えて修了に必要な単位に含めることができます。対象科目や申請方法等の詳細は入学後にご確認ください。参考までに現在の経済政策コース修了要件をご覧ください。	http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/education/courses/
		修了に際してリサーチペーパー、研究論文の履修は必須ではないのでしょうか。またこれらについて、どの程度の割合の学生が履修しているのか教えていただければ幸いです。	必須ではありません。 参考までに現在の修了要件をご覧ください。 履修している学生の割合は公表していません。	http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/education/courses/
		今年度及び来年度は感染症の影響で直接の研究室訪問が叶わないことが想定されますが、学生の方に質問が可能な説明会はありますか	学生に質問可能な説明会はございません。 当大学院では学生は研究室に所属しません。また、公共政策大学院としては出願前に事前に教員とコンタクトを取ることは求めません。	
		研究指導を希望する場合、教員と個別の連絡をとることが望ましいでしょうか。	出願前に事前に教員とコンタクトを取ることは求めません。	
		企業を経営しながらの進学は可能ですか。また、過去にそのような事例はありましたでしょうか。	可能です。 過去の事例については回答できません。	
社会人		社会人が業務をしながら通学できるか確認するため、平日遅めの時間や土日に授業はありますか。また時間割は公開されていますでしょうか。	平日夜間（6限18:45～）や土曜に開講する授業もあるものの、例年数が少なく、修了するには平日日中の授業も履修が必要といえます。	http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/education/courses/
		職業人選抜の場合、平日夜間・土日以外の平日日中の時間帯での授業履修や試験の必要が想定されますでしょうか。その場合、目安等がございましたらご教示いただければ幸いです。	今年度の時間割を参考にしてください。 なお、職業人選抜を経て入学した場合も、一般選抜を経て入学した学生も修了要件は同じです。	

大区分	中区分	質問内容	回答等	参考情報等
留学		キャンパスアジアプログラムに参加するには、国際プログラムコースを選択しなければならないのでしょうか。	修了要件を満たしやすいということで、国際プログラムコース（MPPIP）からの参加者が多いですが、特に限定してはいません。原則としてGraSPPのどのコースからも参加可能ですが、同様の観点で、MPPIP以外では国際公共政策コースからの参加が多くなっています。	http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/campusasia/course/admission/
		北京大学への交換留学を希望しているのですが、現在の感染症の情勢や貴学の手続き上、1年次の後期に留学を行うことは可能でしょうか。また、その際は合格後、入学前の段階で手続きをさせていただければよいのでしょうか。	北京大学への交換留学をするためには、まずCAMPUS Asiaプログラムへの参加が必要となり、北京大学のみではなく、ソウル大学へも留学することが条件となります。両校への留学はGraSPP 2年次以降となるため、1年次の後期に行くことはできません。（北京大学ダブルディグリーを希望の場合は、先方の受入手続きの関係上、入学前の3月に留学申請手続きが必要です。それ以外は入学以降しかるべきタイミングで申請することになります。そのタイミングは、CAMPUS Asiaプログラム参加者に適宜案内します。）	http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/campusasia/
		コロナウイルスによる海外留学への影響はありますか。また、現在留学している方はコロナ禍でどのように過ごしていますか。	交換留学プログラムはほとんどがキャンセルとなりましたが、幸いシアンスポ（フランス）には1名派遣できました。ダブルディグリープログラムは従来通り実施しており、LKY（シンガポール）とSIPA（アメリカ）に各1名ずつ派遣しました。それぞれ派遣後に各国でコロナウイルス感染拡大が広がり、現地ではかなり制約された生活を強いられたという話も聞きましたが、皆、それなりに元気に過ごしているようです。	http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/mppip/admissions/general-information/
	社会人	職業人選抜での留学の場合、留学期間は一時休職・退職をされているケースが多いのでしょうか。	これまで職業人選抜での留学期間に休職・退職されたというケースは把握していません。	
進路		必ずしも卒業後に行政官になると決めているわけではないが、そのような場合、例えばキャリアセンターのような就職支援等は受けられるのか。	本学学生であれば東京大学キャリアサポート室を利用可能です。	https://www.careersupport.adm.u-tokyo.ac.jp/
		Grasppに入学後、海外の経済学修士または博士課程への進学について	修了後の進路（右リンク）を参照してください。毎年一定程度（2019年度は7%）が修了後の進路として進学または進学準備と答えています。進学先は公開していません。	http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/admissions/admission-results/
その他		教育訓練給付制度の指定講座になる予定はありますか。	現時点では指定講座となる予定はありません。	